

6. 卒業要件

●以下の表の通りの単位を修得し、かつ**通算 GPA が2以上**であること。

科目区分	科目特性			卒業に必要な単位数	
共通科目 (P.56～60)	①基礎科目	初年次セミナー	必修科目	2単位	「左記の単位数を超えて修得した単位は「自由選」の単位として算入されません」
		学術文章作法	選択必修科目	2単位	
	②大学科目		選択必修科目	4単位	
	④世界市民教育科目		選択必修科目	4単位	
	⑤数理・データサイエンス・自然科目	データサイエンス入門	必修科目	2単位	
	⑥人文・社会・健康科目		選択必修科目	2単位	
	⑦キャリア教育系科目		選択必修科目	2単位	
外国語科目	第1外国語	※1	選択必修科目	6単位	
	第2外国語	※2	選択必修科目	4単位	
経済学科 専門科目 (P.72～74)	選択必修科目 ※3			28単位	
	選択科目			38単位	
	選択したコース [▲印] から合計18単位以上を修得すること。				
自由選択 ※4	『共通科目』『経済学科専門科目』『他学科専門科目』から自由に選択して修得した単位			30単位以上	
合 計				124単位以上	

※1 第1外国語は、原則として「英語」とし、共通科目の「③言語科目（英語）」(P.56) 又は学部学科英語科目 (P.74) から6単位修得してください。

経済学科では、卒業に必要な英語6単位は、以下の学部英語科目を履修することによって満たすことができます。

Non-IP 生	Economics English Communication I, II, III
IP 生	Academic Foundations for Economic Majors I, II ;
Pre-IP 生	Global Economy Laboratory; Economics Laboratory A, B

また、IP, Pre-IP を第1 Semesterのみ履修した学生は、Economics English Communication を履修し、残りの英語単位を修得してください。

※2 第2外国語は、共通科目の「③言語科目」(P.56～57) から、第1外国語として選択した言語以外の1つの言語（ただし言語演習を除く）で4単位を修得してください。

※3 専門選択必修科目で卒業に必要な単位数（28単位）を超えて修得した場合には専門選択科目として算入されます。

※4 自由選択とは『共通科目』『経済学科専門科目』『他学科専門科目』のどの科目でも自由に選択して単位を修得することができます。

ただし、『共通科目』のうち卒業基準単位数が定められている科目群の科目と『経済学科専門科目』の単位は、各々の卒業に必要な単位数を超えて修得した場合に自由選択の単位となります。例えば、専門科目の選択科目を40単位修得した場合に、2単位が自由選択の単位として計算されます（自由選択を30単位修得済の場合は、卒業基準単位数を超えた単位として計算されます）。

7. 履修制限・成績優秀者・早期卒業に関する条件

■経済学部の基準は以下の通りです。

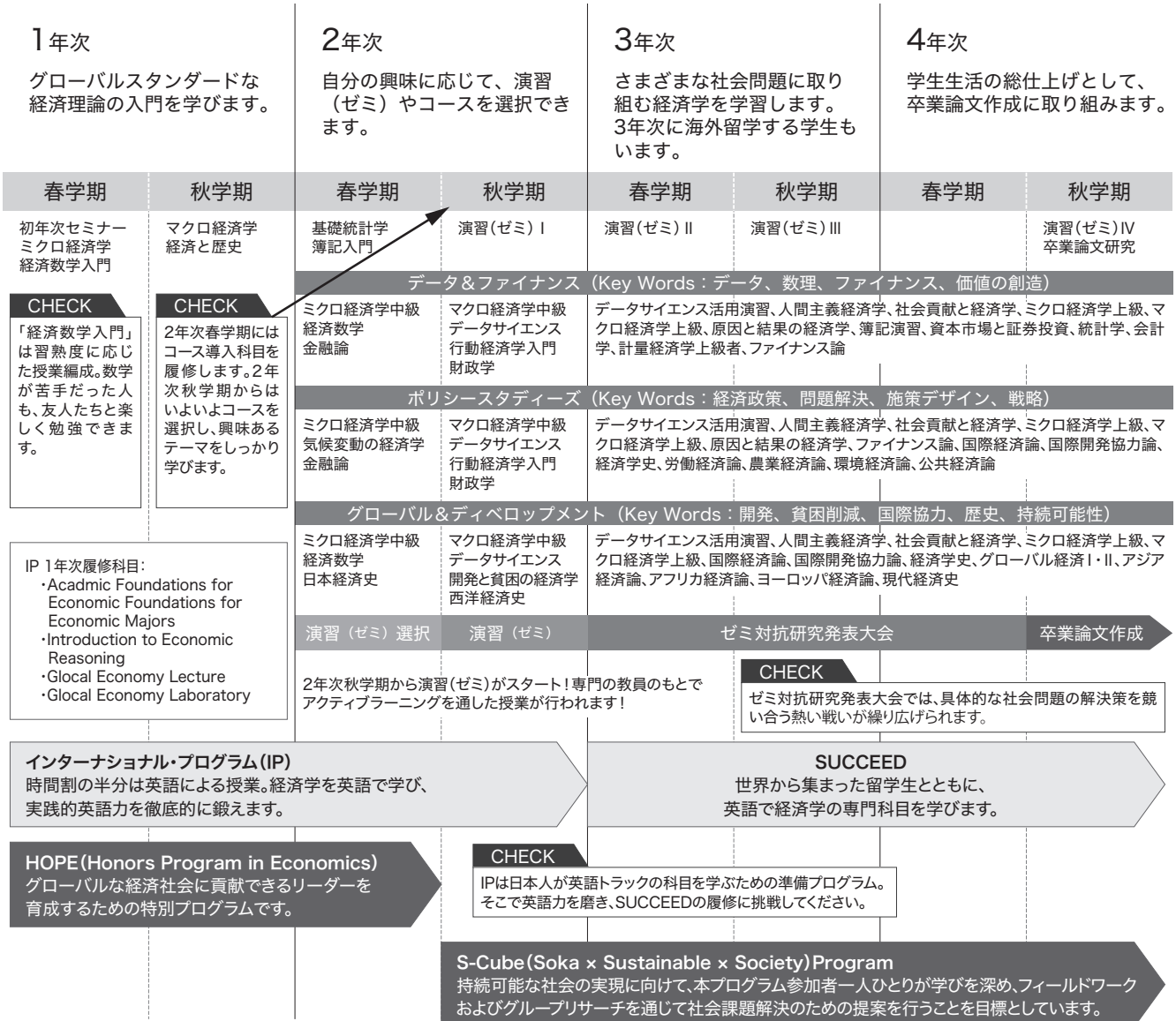
履修上限 単位数	成績優秀者になるための 基準		成績優秀者の 履修制限緩和		早期卒業するための基準			
	学期毎の修得 下限単位数	直前 Semester の GPA 数値	追 加 単位数	上級年 次履修	卒業判定時 通算 GPA 数値基準	在学4 Semester 終了 時点の条件		
※学期毎の 上限単位数						通算 GPA 数値基準	最低修得 単位数	
20 単位	16 単位	3.50	4 単位	可	3.70	3.70	84	

早期卒業するためには、4セメスター終了時点で、基準の通算 GPA 数値と修得単位数を満たし、早期卒業対象者に選ばれる必要があります。そして、卒業判定時（在学6セメ又は7セメ終了時）に上記の通算 GPA 基準を満たし、かつ、卒業基準単位を修得する必要があります。

なお、早期卒業対象者は、毎履修登録時に卒業希望セメスターを Web より登録しなければなりません。

8. 4年間の学び（経済学科専門科目）

経済学部専門科目の4年間の学び



- 経済学部専門科目の4年間の学びをイメージするための図です。共通科目（初年次セミナー以外）は含まれていません。
- IP(International Program)、学部英語科目の履修については、「経済学部での英語教育」(P.66～67)を参照してください。
- 共通科目、IP科目を含めた、具体的な履修科目については、以下に示す履修モデルを参照してください。
- この図には含まれていない専門科目が数多くあります。その他の科目については、専門科目表(P.72～74)で確認してください。
- SUCCEED科目はこの図に含まれていません。専門科目表(P.72～74)で確認してください。

注1 第1セメスターにIPを履修しない学生は、「簿記入門」を1年次に履修してください。

注2 「簿記演習」「資本市場と証券投資」「グローバル経済Ⅰ・Ⅱ」「データサイエンス活用演習」「労働経済論」「環境経済論」「原因と結果の経済学」は第3・4セメスターから履修可能です。

9. 履修モデル（1・2年次）

履修の仕方は、IP生、Pre-IP生と一般学生で異なります。各セメスター20単位の履修制限内での標準的な履修モデルは以下の通りです。各人の興味に応じて、これ以外の科目を履修することも可能です。

また、IP科目は、レベルによって異なるので、以下のモデルに示した以外の科目の履修が求められることがあります（「10. 学部英語科目とIP, SUCCEED」参照）。

■ 1年次

必修科目（「初年次セミナー」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済と歴史」；一般学生はさらに「簿記入門」）、IP科目若しくは学部英語科目は必ず履修してください。

その他、言語科目（英語以外）、データサイエンス入門、学術文章作法、キャリア教育科目の履修を強く推奨します。

○囲み数字は単位数を表します

第1セメスター	IP生、Pre-IP生	Non-IP生
専門選択必修科目	・ミクロ経済学 ④ ・経済数学入門 ④	・ミクロ経済学 ④ ・経済数学入門 ④ ・簿記入門 ②
専門選択科目	・Introduction to Economic Reasoning ④	
学部学科英語科目	・Academic Foundations for Economic Majors I ②	・Economics English Communication I ②
共通科目	・初年次セミナー ② ・『言語科目（英語以外）』から1科目 ② ・『⑧キャリア教育系科目』から1科目 ②	・初年次セミナー ② ・『言語科目（英語以外）』から1科目 ② ・『⑧キャリア教育系科目』から1科目 ② ・『②大学科目』から1科目 ②
第2セメスター	IP生、Pre-IP生	Non-IP生
専門選択必修科目	・マクロ経済学 ④ ・経済と歴史 ④	・マクロ経済学 ④ ・経済と歴史 ④
専門選択科目	・Global Economy Lecture ②	
学部学科英語科目	・Global Economy Laboratory ② ・Academic Foundations II ②	・Economics English Communication II ②
共通科目	・『言語科目（英語以外）』から1科目 ② ・データサイエンス入門 ② ・学術文章作法 I ②	・『言語科目（英語以外）』から1科目 ② ・データサイエンス入門 ② ・学術文章作法 I ② ・『⑧キャリア教育系科目』から1科目 ② ・『④世界市民教育科目』から1科目 ②

■ 2年次

必修科目（「基礎統計学」「演習 I」、IP生はさらに「簿記入門」）、IP科目若しくは学部英語科目は、必ず履修してください。また、コース選択を考えて、その導入科目を履修してください。特に「ミクロ経済学中級」「マクロ経済学中級」の履修を強く推奨します。1年次にIP、Pre-IPで共通科目を十分に履修していない学生は、2つ目のコース導入科目の代わりに、共通科目を履修してください。

○囲み数字は単位数を表します

第3セメスター	IP生	Non-IP生
専門選択必修科目	・基礎統計学 ④ ・簿記入門 ②	・基礎統計学 ④
専門選択科目	・ミクロ経済学中級 ④ ・コース導入科目を1科目 ④ ・Economics Lecture B ④	・ミクロ経済学中級 ④ ・コース導入科目を2科目 ⑧
学部学科英語科目	・Economics Laboratory B ②	・Economics English Communication III ②
共通科目など		・自分の興味のある科目 ②

第4 Semester	IP 生	Non-IP 生
専門選択必修科目	・演習 I ②	・演習 I ②
専門選択科目	・マクロ経済学中級 ④ ・コース導入科目を1科目④	・マクロ経済学中級 ④ ・コース導入科目を2科目⑧
共通科目	・『②大学科目』から1科目② ・『④世界市民教育科目』から1科目②	
共通科目など	・自分の興味のある科目⑥	・自分の興味のある科目 ⑥

10. 学部英語科目と IP, SUCCEED 科目

各学生の希望及び英語のレベルに応じて、以下の英語教育の科目を設けています。

なお、副専攻「English Medium Program (EMP)」の登録をする場合、IP 科目（学部学科英語科目を除く）と SUCCEED 科目は副専攻科目にも算入されます。

(1) International Program (IP)

英語で専門科目の基礎を学ぶと同時に学術的な英語能力とディスカッション能力を養うプログラムです。IP では、各 Semester に 6 単位の科目を履修し、毎週、授業・授業外を合わせて計約 20 時間以上の学習時間を必要とします。各授業は、次のページの図に示したように、英語力 (TOEFL-ITP テストのスコア) に応じてクラス分けが行われます。IP の履修を続けるには、Semester ごとに決められた英語力に到達し、さらに、各 Semester で 2.70 以上 (第 1 Semester のみ 2.30 以上) の GPA を取らなくてはなりません。

(2) Pre-IP

IP の履修を目指す 1 年生のためのプログラムです。第 1 Semester に 6 単位の科目を履修し、学術的な英語力の向上を目指します。

(3) 一般学生

各 Semester に Economics English Communication (2 単位) を履修し、総合的な英語力の向上を目指します。

(4) SUCCEED (Soka University Courses for Comprehensive Economics Education) 科目

英語で経済学を学ぶ科目です。履修するためには、以下の①、②のいずれかの条件を満たす必要があります。

- ① 以下の 3 つの条件をすべて満たす
 - a) Global Economy Laboratory, Economics Laboratory A, Economics Laboratory B の 3 科目のうち 2 科目以上の単位修得
 - b) TOEFL-ITP スコア 530 以上
 - c) 通算 GPA 2.70 以上
- ② TOEFL-iBT 79 点以上

原則として、1 クラスあたりの定員を留学生含めて 20 名とし、これを超過する履修希望者がいた場合は、経済学部生の履修を優先とします。

Semester 5-

SUCCEED
courses
ITP530+

Semester 4

SUCCEED
courses
ITP530+

Semester 3	Econ ECIII [2]		Advanced B EcLecB(4) EcLabB[2] ITP490+
Semester 2	Econ EC II [2]		Intermediate GLec(2) Glab[2], AFII[2] ITP450-487
Semester 1	Econ EC I [2]	Pre IP IER (4) AF I[2] ITP310-420	Advanced GLec(2) Glab[2], AFII[2] ITP490+
	一般学生	Pre-IP	IP (International Program)

1.1. 履修のための前提 (prerequisite)

2年次以降に開講される科目の多くは、事前に特定の科目を履修しておくことが求められます。これらの条件は、各科目のシラバスに明記されているので、履修の前に必ず確認するようにしてください。特に、「ミクロ経済学中級」「マクロ経済学中級」は、その履修が、多くの科目で前提とされるので、2年次のうちに履修することが強く推奨されます。

1.2. コース

2年秋学期（第4セメスター）の履修登録で、コースを選択して登録します。選択したコースが指定する▲印の科目群の中から18単位を修得しなければなりません。

■データ&ファイナンス

データ処理能力、統計分析、計量経済学のスキルを習得し、ファイナンス分野や国際ビジネスの舞台において新たな価値を創造しゆく力を養います。

■ポリシースタディーズ

ローカル・エコノミー、日本・世界経済が直面する循環型経済社会の構築、新産業の創出、地方創生、AIと雇用問題、食糧の安定的供給、少子高齢化といった諸課題の解決をめざし、有効な経済政策・戦略の立案・デザインができる力を養います。

■グローバル&ディベロップメント

日本を含めた先進経済とアフリカ・アジアなどの新興・開発途上経済の持続可能な発展について、国内外の歴史や文化を通じて考えるとともに、貧困問題や気候変動解決のための国際的な開発協力政策についての学修を通して、グローバルな視点で経済活動を理解し、広い視野と分析力を養います。

■ SUCCEED (Soka University Courses for Comprehensive Economics Education)

英語による講義のみで構成されるコースです。日本人学生も以下の①、②のいずれかの条件を満たせば、このコースの科目を履修できます。

- ① 以下の3つの条件をすべて満たす
 - a) Global Economy Laboratory, Economics Laboratory A, Economics Laboratory B の3科目のうち2科目以上の単位修得
 - b) TOEFL-ITP スコア 530 以上
 - c) 通算 GPA2.70 以上
- ② TOEFL-iBT 79 点以上

■ 選択したコースの変更

第4セメスターで選択したコースを変更する場合は、第5セメスター以降の履修登録時に変更することが可能です。ただし、コースを変更した場合、変更先のコースが指定する科目群から18単位を修得しなければなりません。したがって、安易にコースの変更を行うと卒業に影響がありますので、コースを選択する際は将来の学修の方向性などよく考えて登録するようにしてください。

1 3. 演習 (ゼミナール)

(1) 演習の開講時期

専門演習は、2年秋学期以降に、少人数制（原則定員12名）で開講されます。「演習Ⅰ」（2年秋学期）「演習Ⅱ」（3年春学期）「演習Ⅲ」（3年秋学期）は必修です。「演習Ⅳ」は、4年秋学期に選択科目として開講されます。原則として、1人の教員の演習に、「演習Ⅰ」から「演習Ⅳ」まで継続して所属します。

(2) 演習ガイダンス及び申し込み時期

2年春学期にガイダンス及び申し込みがあり、選考の上、所属する演習が決定されます。なお、教員が選考資料の1つとして1年次の成績を使用します。

※演習の選択は、3つのコースから選択した専門分野と必ずしも関連している必要はありません。

1 4. S-Cube プログラム (Soka Sustainable Society Program)

(1) プログラムの目的

持続可能な社会を構築する価値創造の人材を育成するプログラムであり、誰一人取り残さない新しい経済・社会システム構築に貢献できる人材を育成すること（SDGs 実現力の習得）を目標としています。

(2) プログラムへの参加要件

本プログラムへの参加要件は下記の通りです。

- ① 募集開始前に開催される説明会へ出席すること。
- ② 第3セメスター終了時の通算 GPA が 2.70 以上であること。
- ③ 英語のスコア (TOEIC, TOEFL いずれでも可) を提出すること。
- ④ 志望理由書を提出すること。

応募者数が定員 (40 名) を超えた場合には、GPA・英語のスコア・志望理由書に基づき選抜を行います。

(3) プログラムの概要

「データ分析」を活用した政策の立案、「フィールドワーク」を通じた現地課題の分析、「行動経済学」による人間行動の理解を通じて、私たちが直面する社会課題解決の政策立案力を養います。

本プログラムは、2年次春学期 (第3セメスター) の後半に参加者を募集し、2年次秋学期 (第4セメスター) からスタートします。本プログラムと SDGs 副専攻を両立することは可能です。

(4) コース制との関係

第4セメスターの履修時に選択するコースについては、3つの中からどのコースを選択しても構いません。本プログラム参加学生は、自身の興味・関心に即して各コースに配置された S-Cube 関連の専門科目を履修することになります。

(5) プログラムの修了要件

以下の要件を満たすことで、S-Cube プログラムを修了したと見なされます。

- ① S-Cube プログラム関連科目を 18 単位以上修めること。
- ② 卒業時に通算 GPA が 2.70 以上。
- ③ 「S-Cube 演習」「社会貢献と経済学」を履修し、単位を修得すること。

なお必須ではありませんが、「行動経済学入門」「原因と結果の経済学」の履修を強く推奨します。

※本プログラムの詳細は学部 HP に掲載されていますので、そちらを参照してください。

15. 専門科目の認定

(1) 簿記検定試験による単位認定

入学前*または在籍期間中に日本商工会議所主催の「簿記検定 3 級」以上を取得した場合、「簿記入門」(2 単位)の単位を認定します。単位認定を希望する学生は、所定の申請書 (Web 上にて発行) と成績証明書原本 (教務課で写しを取った後に本人に返却) を教務課に提出してください。認定成績は R です。経済学部以外の学生については、認定しません。

※「簿記入門」の単位認定と、経営学部で実施している簿記検定による専門科目の単位認定 (P.110) を両方とも認定することはできません。

(2) 経済学検定試験 (ミクロ・マクロ) による単位認定

入学前*または在籍期間中に日本経済学教育協会主催の「経済学検定試験 (ミクロ・マクロ)」を受験し、C 以上の成績を取得した場合、以下の表の基準に従って、「経済特論」(2 単位)の成績を認定します。「経済特論 I ~ IV」のうち、どの科目で認定されるかは、単位修得状況によります。単位認定を希望する学生は、所定の申請書 (Web 上にて発行) と成績証明書原本 (教務課で写しを取った後に本人に返却) を教務課に提出してください。経済学部以外の学生についても、他学部専門科目「経済特論」として認定されます。

■認定の対象となる成績

主催団体	試験名	取得資格	認定成績	認定単位	備考
日本経済学教育協会	経済学検定試験 (ミクロ・マクロ)	S	A+	2 単位	ERE ミクロ・マクロでの単位認定は一度のみです。一度 ERE ミクロ・マクロで単位認定を受けた後、別の成績で新たに単位を申請することはできません。
		A+	A		
		A	A-		
		B+	B+		
		B	C		
		C	D		

(3) 統計検定による単位認定

対象となるのは、入学前*または在籍期間中に取得した「統計検定 3 級」以上の資格です。認定科目と認定単位・成績は、以下の表の通りです。「経済特論 I ~ VI」のうち、どの科目で認定されるかは、単位修得状況によります。単位認定を希望する学生は、所定の申請書 (Web 上にて発行) と成績証明書原本 (教務課で写しを取った後に本人に返却) を教務課に提出してください。

■認定の対象となる成績

主催団体	試験名	取得資格	認定成績	認定単位	認定科目	備考
日本統計学会	統計検定	3 級	R	4 単位	基礎統計学	経済学部生のみ申請可
		2 級	R	経済学部生は最大 6 単位、他学部生は 2 単位	基礎統計学の 4 単位と、経済特論 I ~ VI から 2 単位認定	「基礎統計学」の認定は、経済学部生のみ申請可。 「経済特論」での単位認定は、最大で 4 単位です。一度 2 級で単位認定を受けた後、準 1 級で単位申請をした場合は 2 単位認定されます。経済学部以外の学生についても、他学部専門科目「経済特論」として認定されます。
		準 1 級以上	R	経済学部生は最大 8 単位、他学部生は最大 4 単位	基礎統計学の 4 単位と、経済特論 I ~ VI から 4 単位認定	

注) 入学前に取得した資格については、入学または再入学の日より6か月以内に単位認定申請をしなければいけません。

(4) IP (International Program) 海外研修プログラム

IP 受講生を対象に、海外大学の協力のもと実施する経済学部独自の短期研修です。このプログラムは、春期休暇中の約2週間、IP 受講生の英語スキル実践の場として、専門的な内容について英語で学ぶだけでなく、グローバルな視点で就業意識を高めることを目的としています。このプログラムを修了すると、経済学部の専門科目「Foreign Studies」の単位(2単位)として認定されます。

このプログラムに参加し、「Foreign Studies」での単位修得を希望する場合は、科目のシラバスをよく読んでうえて、必要な手続きを行ってください。なお、この科目は履修制限の対象外で、PF評価により評価が行われます。

【履修登録の時期】 プログラム終了直後の学期に履修登録を行ってください。

【募集人数】 20名程度

【応募資格】 経済学部 IP 受講生

【選考方法】 書類選考(詳細については、科目担当教員にお問い合わせください。)

(5) 海外インターンシップ

経済学部では、海外における企業や団体組織での就業体験を行う「海外インターンシップ」科目(International Internship A、International Internship B)を開設しています。これはグローバル社会におけるスキルやコミュニケーション能力を養い、キャリア形成を促進することを目的としています。認定対象となる「海外インターンシップ」は、専門科目としての教育効果が十分に期待できると判断されるものに限ります。

これらの科目での単位修得を希望する場合は、それぞれの科目のシラバスをよく読み、以下の記載に沿って必要な手続きを行ってください。なお、これらの科目は履修制限の対象外で、PF評価により評価が行われます。

【実習の進め方】

- ① 実習に応募する前にシラバスで確認し、経済学部の科目担当教員に相談のうえ、必要書類を経済学部事務室に提出してください。
- ② 実習終了後に必要書類をそろえて、経済学部事務室に提出してください。
- ③ 詳細については、科目担当教員にお問い合わせください。

【履修登録の時期】

インターンシップ終了直後の学期に履修登録を行ってください。

(6) 留学先で取得した科目の単位

交換留学先の大学、若しくは私費留学で経済学部教授会が適当と認めた大学において修得してきた経済学専門科目の単位は、経済学部教授会の議を経て、創価大学経済学部のカリキュラムや授業時間数に従って、創価大学経済学部の単位として認定されます。

経済学専門科目の単位の認定を希望する学生(他学部生を含む)は、全学共通の海外留学単位認定願(専門科目)・講義内容(教務課窓口で配布)・留学先で発行した成績証明書原本【成績基準を含む】に加え、留学先での講義シラバスを教務課に提出してください。